

令和 6 年度事業報告

会員の皆様には、令和 6 年度の事業推進に当たり、新型コロナウイルスの 2 類から 5 類への取り扱い変更から 1 年が経過し、ほぼコロナ禍以前に戻った行事の開催に多大なるご理解、ご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

はじめに

「新型コロナウイルスの対応」について

感染法上の位置付けが変更になったとはいえ、感染防止対策については全剣連と情報交流を密にし、全剣連の感染症予防ガイドラインに沿って慎重に対応した。

特に、

- ・立ち合い時のマスクもしくはマウスシールドの着用
- ・密を回避し、換気、床の清掃、手指消毒の徹底等

基本的な課題として、

(1) 「少子高齢化とコロナ禍での剣道離れ」について

新入生の減少等により活動再開の本格的な手応えはまだ活発ではない。世間とともに剣道界全体の流れとして、少子高齢化の影響とコロナ禍による剣道離れの危惧が継続して感じられた年であった。

厚生労働省は令和 7 年 2 月 27 日、令和 6 年度の出生者数（速報値）が前年比 5.0%減の 72 万 988 人だったと発表、9 年連続で減少し、過去最少を更新した。これは、外国人を含む値で、日本人だけでみるとさらに少なくなる。人口の減少幅は昨年同様 80 万人を超え、少子化が更に加速していることを示している。新生児出生数が第 1 次ベビーブーム時代（270 万人）の 1/3 に減少し、総人口の減少速度が一層早まっていることはご承知のとおりである。当連盟の年齢別人口構成を比較すると、確実に 1 年ずつ年齢層が高くなっている。今年度は高校卒業直後の 19 歳が 200 名を超えたものの、大学卒業直後の 23 歳は前年同様 300 名を大きく割る状態となっており、コロナ禍での若年層の剣道離れの実態が続いている。

当連盟の会員人口に比例すると考えられる昇段審査受審者数の推移を見てみるとより顕著で、それがよくわかる。年度により変動はあるが、公益法人化し正確な統計を取り始めた 10 年ほどは、年平均 2%程度の減少傾向が続いていたが、特に、新型コロナウイルスの影響による初・二段クラスの受審者数の減少が著しく、令和 4～6 年度で若干回復傾向がみられたものの、10 年前と比較すると 38.8%（年平均 3.9%）の減となっており、コロナ禍での若年層の節目における剣道離れの実態がはっきりしてきている。

新規に剣道を始める人を増やす課題とともに、この人口を次へ引継ぎ、如何に生涯剣道につなぐかというのが、大きな課題である。

（定款 第 3 条）「わが国の伝統と文化に培われた剣道（居合道、杖道を含む）を、正しく継承し、剣道の普及振興を図り、もって府民の健全な心身の育成に資する」ことを大命題とする当連盟としては、最重要課題として「少子高齢化」と「コロナ禍が常態化する中での剣道離れ」に危機感をもって継続して真剣に取り組んで行かなくてはならない。

裾野を広げる活動も重要であるが、この程度の少子高齢化は避けられないとすれば、これに見合った事業展開を検討する時期となっている。

(2) 「賛助会員制度」による支援活動について

スタート後 10 年目を迎えた賛助会員制度には 227 件、170 万円のご協力をいただいた。全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会への（独行）スポーツ振興基金からのご助成及びパナソニック社の冠大会化のご支援に目途が立ってきたことから、賛助会員制度の所期の目的に沿ったバランスの良い支援活動の継続展開を目指した。

支援活動の状況としては、

- A. 少年・・・パナソニック杯 第19回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会を開催した。
- B. 女性・・・オールおおさか剣道WOMANフェスタ大会に代わる使途を検討した。
- C. シニア・・・第7回大阪剣道マスターズ大会は参加者皆様の協力を得て無事開催した。
- D. 講演会・・・「行き過ぎた指導」「不適切な指導」に関わるスポーツハラスメントを根絶させたいとの思いから、スポーツ安全講演会を企画し、コーチング手法を学んだ。
- E. 大阪版「剣道の心」・・・コロナ禍の影響が完全に払拭できない中で、剣道大好き仲間の絆をしっかりと支えるべく、大阪版「剣道の心」普及活動を中心に唱和をテーマにした面手拭い、キーホルダー、缶バッジの制作・配布を引き続き推進した。
- F. 公益法人として会員の皆様の便宜を図るため、「税額控除制度」の適用更新申請を進め、2回目の許認可を完了した。引き続き、従来の「所得控除」に加え、「税額控除」の選択が可能となり、より有利な税務上の優遇策を受けられることとなったことを周知徹底した。なお一層のご支援、ご協力を賜りたい。

(3) 「財政基盤の確立」について

当法人の財政は、「個人会費」と「審査料・登録料」を基盤としてきた。ご承知のように、公益法人を取り巻く事業環境はより一層厳しく、少子高齢化の波は大きく、会員数は減少の傾向にあり、また、「審査」もその影響を受けており、厳しいやりくりとなった。更に収支相償（大きな赤字も、大きな黒字もだめ）という公益法人に課せられた難しい縛りの中で、財政基盤の安定確立化に取り組んだ。

基本方針として、公益法人化の原点に戻り、安易に会費・審査料等の値上げに頼らない財政運営を目指した。1年毎の単年度思考を改め長期的な視点に立つ中期計画の展開に、ここ数年取り組んできた。長引くコロナ禍の常態化も勘案し、様々なコストプレッシャー要因を把握整理した上で、赤字事業・定款の目的に沿わない事業・成果の上がらない事業の見直し、一般管理費の削減等聖域のない徹底した緊縮財政に引き続き取り組んだ。各方面でご理解、ご協力をいただいております、これを継続し、安定した財政基盤の確立を推進した。

審査会については前述の通り、皆様方のご理解・ご協力の下、工夫展開し、予定の回数を開催することができたが、コロナ前までの回復は難しく、受審者数の減少が大きく影響した。社会情勢と同じく、大阪剣道界も少子高齢化の渦中にある。

少年大会については、今回も好評に答えてLive配信を行ったことにより費用増になったが、パナソニック株式会社エレクトリックワークス社の冠化開催のご支援に加え、事務局を中心に徹底したコスト削減策を実施したことにより、当初懸念された大きな赤字は回避することが出来た。引き続きこの体制を持続徹底する。

(4) ガバナンス・コンプライアンスの取り組み

以上の基本的な課題に加え、特に昨今スポーツ界を騒がせている「体罰・暴力的指導への対応強化を図っており」、「文化講演会・スポーツ安全講習会」に於いて、スポーツハラスメントに関するテーマを取り上げ（「実践！グッド コーチング：新しい時代に求められる指導法」、講師：土屋裕睦先生（大阪体育大学教授）を招聘）、剣道家の常識が世間一般の非常識とならないよう、技術のみに偏らない「人間形成につながる」指導法の研鑽に取り組み、今後も指導者育成に向けてキャンペーンを展開することを検討中である。

その他事業については、

- (1) 定款に定められた各種大会、講習会、講演会、昇級・昇段審査会、各種大会等への選手・役員の派遣、功労者表彰、安全衛生対策等諸事業については、各委員会・事務局が中心になって年間行事予定に従い準備、推進した。
- (2) 中学校の部活動の地域移行・地域連携に伴う対応については、部活動指導員の人材バンクへの人材供給等を継続して行った。

- (3) 中学校における武道必修化支援については、全日本剣道連盟の呼びかけに応え、中学校における武道必修化対応事業として「授業協力者養成ブラッシュアップ講座」を企画し、これまでに計 140 名余りの派遣講師候補を養成した。また中学校の現場から高まる要請に応じ、授業協力外部講師の派遣を推進した。一般見学者にも開放する公開授業については、実施しなかった。教育行政の中で、働き方改革の一環として部活動の外部支援の機運も高まってきており、特に地域（社会体育）化への移行方針を先取りして大阪府・大阪市他の教育委員会担当部門との情報交換を密にするなど、今後も全面的に協力を行う方針である。
- (4) とかく閉鎖的であった剣道界であるが、少子高齢化問題をはじめとした共通課題について各地の剣道連盟との情報交換を進めた。同じ公益社団法人として組織運営面で共通の課題を持つ福岡県・埼玉県・東京都・静岡県剣道連盟等と地勢的に共通点の多い近畿圏剣道連盟との交流を深め、お互いの課題解決に向け情報共有・意見交換を進めて行く。

以下、令和 6 年度事業計画に基づき実施した具体的事業について概括する。

I. 公益事業

1、個人会員および登録団体の状況

剣道はそもそも道場を基盤とした「道場文化」の上に成り立っていた。公益法人に移行（平成 24 年 4 月～）して 13 年を経過し、組織構成員の位置づけを明確にした個人会員登録制度が定着してきたものの、一方で「道場文化」が希薄化する傾向がみられる。道場を活動拠点として、剣道を通じてよき師に巡り合い、友人関係の深い絆を形成してきたこのよき伝統を是非とも「登録団体」で補完していただきたい。まずは、稽古の場を持つことはもちろん、大会・審査会・講習会等の情報連絡、スポーツ保険や個人登録会費の納入などの事務的なとりまとめ、稽古環境の整備等にはじまり、交剣知愛の輪を広げる扇の要（かなめ）の役割を積極的に果たしていただく事を期待する。

個人会員数は、高校生相当年齢 1,670 名、大学生相当年齢 706 名、一般 13,435 名であった。なお、中学生以下の登録者は 6,660 名で、その合計は 22,471 名であった。昨年度と比べると、一般の登録者は微減（昨年度比約△0.4 %）、大学生相当年齢と高校生相当年齢は変動なし、中学生以下の登録者数は減少（昨年度比約△4.3%）となった。個人会員数合計は、昨年度比約 1.6%、362 名の減少となった。

本年度の入会登録団体は 2 団体あり、退会登録団体は 4 団体で、本年度末の登録団体数は 558 団体となった。

2、講習会の開催及び指導者育成事業（定款第 4 条第 2 号）

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図るため、講習会を開催した。

剣道においては、近年マンネリ化していた講習会の参加者を増やし、指導者の一層のレベルアップを図るために、府下 9 地区を北・中・南の 3 ブロックに大きく括り、八段講師を毎回約 5 人投入し、審判法・日本剣道形と指導法を有機的につなぐ講習会を継続しているが、今年度は北ブロック・中ブロック・南ブロックで 1 回ずつ実施し、受講者は延べ 189 名であった。

例年、指導講師間での趣旨徹底、伝達事項の共有、意思統一のため、全剣連伝達講習を兼ねて八段講師研修会・審査員審判員研修会を企画・実施しているが、施設の確保ができず、実施できなかった。

これまで実施してきた講習会については、審判法 1 回、日本剣道形 1 回、審判法・日本剣道形 2 回、指導法 2 回、女子講習会 1 回・女子稽古会 1 回、合計で 8 回開催した。

従前の地域・職域（大阪剣道協会、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署、道場連盟）における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進したところ、12 回の実施となり、受講者延べ 774 名であった。

これら上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員に年2回の受講を義務づけており、個人登録システムにより資格認定の必須条件として厳密に管理している。が、まだコロナの影響も残っており、弾力的な運用を行わざるを得ない。また、称号受審者には、全剣連通達により、最低限、錬士受審者には1回、教士受審者には2回受講することを義務付けている。

全剣連の主導により中学校における武道必修化授業に対応した10回目の「授業協力者養成講習会」を学校現場で指導している者に限定して企画・開催したところ、14名が受講した。

居合道では、夏季講習会・春季講習会・伝達講習会・新年合同稽古会・審判講習会1回・特錬会3回・古流合宿研修会1回・古流研修会1回の実施となった。恒例となった、特別講習会を全剣連居合道委員長 草間純市範士を招聘して、技術・指導技術の向上をテーマに4月6・7日に実施したところ、延231名が受講した。

杖道では、2回の主要講習会（伝達講習会・秋季講習会）に加えて6回の月例研修会の実施となった。

三道共通講習会として、例年開催している、「文化講演会・スポーツ安全講習会」を2月8日（土）エル・おおさかに於いて、講師に土屋裕睦先生（大阪体育大学教授）を招聘して「実践！グッド コーチング：新しい時代に求められる指導法」をテーマにして開催したところ、約88名が受講し、有意義なものとなった。

暑中稽古の開催については、オール大阪暑中稽古と銘打ち、大阪市立修道館に於いて夕刻に2回、Asue アリーナ大阪(大阪中央体育館)に於いて終日1回実施したところ、多数の参加を得た。また、寒稽古の開催についても、大阪市立修道館で夕刻に2回、Asue アリーナ大阪(大阪中央体育館)に於いて終日1回実施したところ、多数の参加を得て有意義なものとなった。

喫緊の課題である少子高齢化に対応する試みとして、以下の3つの企画展開を行った。

(1)「少年剣道塾」について

剣道大好きな小中学生剣士を対象に、トップレベルの講師のもと、剣士同士の交流を深め、生涯剣道につながる正しい剣道の素晴らしさを体験してもらう場を企画した。今年は4回（5月6日(平野スポーツセンター)・7月28日(平野スポーツセンター)・11月10日(西スポーツセンター)・R7年2月23日(西スポーツセンター)) 開催した。

(2)「ビギナーズパートナー（BP）」指導者養成講習会について

幼少年の子どもたちに遊びや運動を通じて健康な身体づくりを行いながら、日本の伝統文化である剣道に関わってもらおうという取り組みを企画した。子供たちの保護者やお兄さんお姉さん方を中心に、「この機会に講習会に参加いただき『BP』の資格を取得して、私たちと一緒に剣道を通して子供たちの成長に関わりませんか！」という呼びかけを行った。今年度も2回の講習会を開催し、40(24+16)名のビギナーズパートナー（BP：大阪府剣道連盟認定）資格受有者が誕生した。幼少年専門の指導員によるアプローチを行うことで、剣道好きな子どもを増やし、将来的には日本の剣道界の発展にもつながると期待している。

(3)「全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会の冠化」について

少子高齢化の流れが迫る中、日本古来の伝統文化である剣道を通じて「将来を担う少年」に夢と希望を与え、剣の理法の修錬によって人間形成につなぐ事業展開を目指す公益法人の主旨に協賛依頼を行ったところ、パナソニック株式会社エレクトリックワークス社の賛同を得、「パナソニック杯」の名のもとに第2回目(第19回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会)を実施した

勝利至上主義でなく、交剣知愛をモットーに生涯剣道の基礎となる少年剣道の発展に向けさらに充実した大会を目指して、高校野球の甲子園、高校ラグビーの花園、そして少年剣道の舞洲とうたわれ、純心な少年剣士たちの「心にいつまでも残る大会」になるよう頑張っていきたい。

3、各種大会開催事業（同条第3号）

本連盟主催分・・・ 6月 9日（日）第61回大阪杖道大会

6月16日(日) 第57回大阪府少年剣道大会
 6月23日(日) 第7回大阪剣道マスタース大会
~~・月・・日(・) 第71回大阪府剣道優勝大会 兼~~
~~第21回大阪府女子剣道優勝大会~~
 9月15日(日) パナソニック杯
 第19回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
 本連盟後援分・・・10月27日(日) 第47回関西杖道優勝大会
 11月17日(日) 第54回居合道段別大会
~~・・月・・日(・) 第66回大阪居合道大会~~
 本連盟主管分・・・4月29日(祝) 第72回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
 5月25日(土) 大阪市長杯第68回市民剣道大会

4、府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣(同条第4号)

次のとおり派遣した。

<剣道>

4月 6日(土)～4月 7日(日)	第59回剣道西日本中央講習会	神戸市	北端
4月21日(日)	第22回全日本選抜剣道八段優勝大会	名古屋市	
		吉田、江藤、石田、愛甲	
4月29日(祝)	第72回全日本都道府県対抗剣道優勝大会	大阪市	
		石塚、長、池内、松本、土谷、勝見、中尾、愛甲	
5月 3日(祝)～ 5日(祝)	第120全日本剣道演武大会	京都市	
		参加者：383名	
6月 7日(金)～ 9日(日)	第62回剣道中堅剣士講習会	奈良市	肱岡
6月15日(土)～16日(日)	剣道審判法西日本研修会	奈良市	
	愛甲・平野・平田・中尾・佐野・置田・首藤・登尾・梶島・福森		
7月15日(祝)	第16回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	東京都千代田区	
	松村、寺本、横山、碩山、辻、酒匂、川内、石田		
7月27日(土)～28日(日)	剣道指導者育成西日本研修会	奈良市	
	三浦・平野・平田・佐野・森田		
8月18日(日)	第78回国民スポーツ大会 近畿ブロック大会	和歌山県和歌山市	
	少年男・女、成年女子	13名	
	総監督：小林		
	成年女子：大嶋、高、近藤		
	少年監督：吉田、本多		
	少年男子：石塚、今井、金丸、杉本、松下		
	少年女子：杉本、十河、橘、松村、宮内		

- 9月15日(日) 第70回全日本東西対抗剣道大会 香川県高松市
横山、升田、大城戸、木和田、寺本、船津
- 9月15日(日) パナソニック杯 第19回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 大阪市
参加：小学生の部2チーム、中学生の部2チーム 計4チーム
小学生Aチーム：塩川、北東、岡垣、大前、桂木、小西、阿部
小学生Bチーム：神田、赤尾、濱口、廣永、山本、待寺、高科
中学生Aチーム：木下、藤波、橋本、水谷、矢野、西村、谷口、高宮
中学生Bチーム：和田明、枕島、東、和田慎、桂木、中山、棚座、藤井
- 9月28日(土)～9月30日(月) 第78回国民スポーツ大会 佐賀県神埼市
成年男子・成年女子 計2チーム
総監督：小林
成年男子：木村、土谷、大城戸、木和田、愛甲
成年女子：大嶋、高、近藤
- 10月19日(土)～20日(日) 第36回全国健康福祉祭 鳥取県米子市
大阪府チーム：田中、西山、真島、葉野、浦田、水谷
大阪市チーム：浜田、西川、角谷、原、村岡、野島
堺市チーム：最上川、貴田、隅田、神脇、藤澤、橋本
- 11月3日(祝) 第72回全日本剣道選手権大会 東京都千代田区
横藤、木村、牛島
- 11月3日(祝) 第63回全日本女子剣道選手権大会 東京都千代田区
横山、藤崎、岡崎
- 11月30日(土)～12月1日(日) 令和6年度「骨太」近畿ブロック講習会 西宮市
受講生(男子)：沖・横藤・中尾・山本
受講生(女子)：濱田・野川・岡田・堀・松村
- <居合道>
5月2日(木) 第120回全日本剣道演武大会 京都市 参加：46名
6月29日(土)～30日(日) 全剣連中央・地区講習会 福岡県久留米市
参加：40名
10月19日(土) 第59回全日本居合道大会 東京都足立区
伏見、黒木、岡、大場、中島
- <杖道>
5月2日(木) 第120回全日本剣道演武大会 京都市 参加：20名
8月24日(土)～25日(日) 全剣連中央・地区講習会 広島県広島市
参加：20名

10月13日(日)	第51回全日本杖道大会	京都市
初段：4名	二段：4名	三段：8名
四段：18名	五段：8名	六段：8名
七段：6名	個人演武：5名	参加：61名

令和7年1月25日(土)～26日(日) 全剣連中央・地区講習会 東京都江戸川区
参加：17名

5、称号および段級位の審査並びに段級位の授与（同条第5号）

剣道は、体育施設確保の問題から変則的な実施となった。剣道6回、居合道2回、杖道2回を実施した。剣道の受審者数は3,690名で、前年度より14.8%の減少となった。居合道および杖道においても、受審者数は、減少となった。

全剣連高段者審査会の前年度比受審者数は、剣道は増加となったが、居合道および杖道は減少となった。

全ての段位審査について、新型コロナウイルスの影響を受ける前の水準には遠く及ばない状況であった。また、大阪剣道界も社会状況と同じく、少子高齢化がより顕著になった。

6、功労者の表彰（同条第6号）

①令和6年度 日本武道協議会 武道功労者 島野 大洋

②令和6年度 全剣連 功労賞 太田 友康

③令和6年度 全剣連 有功賞 西口 芳治
井口 昭則
下田 衛

④令和6年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞 豊能地区 豊剣教

⑤令和6年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞
金 賞 濱野 秀敏
銀 賞 丸川 忠篤
〃 永橋 正弘
〃 池田 國宏
団体賞 若竹会

⑥第20回国土交通大臣杯剣道大会 団体戦 優勝 JP ロジスティクス大阪
稲塚・松崎・竹内・小幡・梁村・糸山・吉田

⑦第46回全国スポーツ少年団剣道交流大会
団体試合(小学生) 優勝 大阪府
渡邊・藤井・勝見・梅本・村上・法花

⑧令和6年度第68回全国警察剣道大会 男子の部 優勝 大阪府警察

⑨八段昇段 剣道 長井 祐二

⑩範士受称

〃	成地 勉
〃	西村 英輔
剣道	笹月 繁
〃	神崎 浩
居合道	無津呂弘之

7、その他当連盟の目的達成のために必要な事業（同条第7号）

①普及活動の推進

会員の活動状況の把握に努めると共に、普及委員（地区担当理事）を中核として9地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

◇地区および職域講習会の開催

各地区（合同講習会含む）・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して例年活発な活動が行なわれている。今年度は、21回開催することができた。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された30回の剣道大会に後援、援助を行なった。

◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生を対象に、53回の昇級審査会が開催された。

◇予算措置

9地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し援助を行なった。

◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページ・ツイッター・メールマガジン・おおさか剣道かわら版の活用について検討を続け、それを促進してきたところ、新型コロナウイルス禍において、その活用が極めて大きな役割を果たすことが実証され、重点事項として取り組んだ。

ツイッター・メールマガジン・おおさか剣道かわら版・行事の写真・動画の配信を引き続き推進する。当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を積極的に提供していく。

②安全対策

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、当連盟主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

◇スポーツ安全保険の加入状況など

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入を促している。加入申し込みがウェブ化したことにより、全体の把握・実態の把握が難しくなっている。把握できている加入数は39団体1,509名となった。加入後にそれを報告いただけるようお願いする。なお一層の加入団体と加入者数の増加に努めたい。

スポーツ安全協会から得た情報によれば、昨今、怪我・事故など発生した場合に指導者の管理不足・配慮不足などが問題となり損害賠償の対象になる事例も増加しており、このようなケースにも対応できるスポーツ安全保険の加入を更に促進させたい。

傷害発生傾向

事故・傷害の保険適用件数は9件で、昨年度に比べ13件減少し、非常に少ない件数となった。が、事故の内容は、これまでと同様に、四肢の捻挫や骨折が多い。中でも、少年剣士の足部の骨折が多く報告されている。その状況は、転倒や稽古者同士の接触によるものが多数報告されており、稽古の方法について一考の必要があると思われる。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也も発生しており、各登録団体において、事故防止・交通安全指導をお願いしたい。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

Ⅱ．収益事業

1、全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計698冊を販売した。

2、広告等募集事業

例年、大会プログラムの広告掲載を各方面より募集しており、29件、総計355,000円となった。

Ⅲ．共通事業

事業活動組織

常任理事会を3回、理事会を5回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動の円滑な遂行のため、委員会間の連携を図り、活発な活動を行なった。

常置委員会として、総務、IT・広報、財務、補助金審査、未来構想、学校、普及、少年、女子、講習会、審判、強化、審査、審判員選考、事業、居合道、杖道、審査員選考の18専門委員会を設置、それぞれの領域で活動を行った。

また、2ヶ月に1度、おおさか剣道かわら版編集会議を開催し、会員の皆様と当連盟を繋ぐため、発行に努力している。

令和6年度事業報告 資料

I 剣 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

講習会名称		実施回数	指導者数	参加者数
連 盟 主 催	審判講習会	1回	5名	67名
	日本剣道形講習会	1回	5名	65名
	指導法講習会	2回	9名	78名
	審判・剣道形講習会	2回	10名	125名
	女子稽古会・講習会	2回	6名	98名
計		8回	35名	433名

(2) 各種大会の開催

5月25日（土） 大阪市長杯第68回市民剣道大会 （大阪市主催、大剣連主管）
於 Asue アリーナ大阪
（大阪市中央体育館）

優勝：男子の部…住友電工 A

優勝：女子の部…富士フイルムビジネスイノベーション 参加：50チーム
257名

6月16日（日） 第57回大阪府少年剣道大会（小学生個人） 於おおきにアリーナ舞洲
（舞洲アリーナ）

低学年（参加：258名）

優勝 Aブロック：塩川 陽翔 Bブロック：伊藤凜汰朗 Cブロック：桂木千嘉良

高学年（参加：351名）

優勝 Aブロック：桂木 綱大 Bブロック：北東 大輝 Cブロック：大前 涼資

6月23日（日） 第7回大阪剣道マスタース大会 於大阪市立修道館
参加：延104名（剣道：75名、居合道：7名、杖道：22名）

~~・月・・日（・） 第71回大阪府剣道優勝大会 兼 第21回大阪府女子剣道優勝大会~~
~~於・・・・・~~

~~参加：・・・チーム、・・・名~~

~~優勝 男子一般：・・・・・~~

~~優勝 女子一部：・・・・・~~

~~優勝 女子二部：・・・・・~~

~~優勝 高校男子：・・・・・~~

9月15日（日） パナソニック杯 第19回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
（大阪市・大剣連主催）
於おおきにアリーナ舞洲
（舞洲アリーナ）
小学生チーム48チーム、中学生チーム48チーム 計96チーム

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行い開催促進した。

(3) 各種予選会の開催

4月21日(日) 第36回全国健康福祉祭剣道交流大会選手選考会 於大阪市立修道館
参加：32名

代表：(大阪府チーム) 田中、西山、真島、葉野、浦田、水谷
(大阪市チーム) 浜田、西川、角谷、原、村岡、野島
(堺市チーム) 最上川、貴田、隅田、神脇、藤澤、橋本

5月12日(日) 第16回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選 於大阪市立修道館
参加：60名
代表：松村、寺本、横山、碩山、辻、酒匂、川内

5月18日(土) 第78回国民スポーツ大会・成年の部・大阪府予選 於大阪市立修道館
参加：127名
代表：(男子) 木村、土谷、大城戸、木和田、愛甲
(女子) 大嶋、高、近藤

~~8月31日(土)~~ (台風の影響)

9月7日(土) 第72回全日本剣道選手権大会・大阪府予選 於大阪市立修道館
参加：80名
代表：横藤、木村、牛島

~~8月31日(土)~~ (台風の影響)

9月7日(土) 第63回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選 於大阪市立修道館
参加：32名
代表：横山、藤崎、岡崎

令和7年2月22日(土) 第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選 於Asueアリーナ大阪(大阪中央体育館)
参加：138名
代表：松下、中尾、山崎、松本、草野、勝見、佐野

(4) 審査会

7月27日(土) おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ) … (初段～五段)
10月27日(日) 臨海スポーツセンター… (三段～五段)
11月30日(土) 高槻市総合体育館… (初段～二段)
令和7年1月18日(土) はびきのコロセアム… (初段～三段)
3月1日(日) 東淀川体育館… (四段～五段)
3月22日(土) 東大阪アリーナ… (初段～三段)

	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	合 計	前 年 比
受審者数	1,562	1,221	390	247	270	3,690	△ 639 △14.8%
(うち女性)	663	489	184	61	51	1,448	△ 190 △11.6%
合格者数	1,391	950	250	113	115	2,819	+ 132 + 4.9%
(うち女性)	507	333	70	18	14	942	+ 84 + 9.8%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八 段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比
受審者数	355	437	321	84	53	—	1,250	+ 32 + 2.6%
合格者数	109	94	3	84	53	2	345	+ 43 + 14.2%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

・月・日(・) 第71回大阪府剣道優勝大会 兼 第21回大阪府女子剣道優勝大会
於・・・・

演武 日本剣道形 ・・・ = ・・・
 宝蔵院流 槍術 ・・・ = ・・・
 小野派一刀流 組太刀 ・・・ = ・・・
 なぎなた ・・・ = ・・・

8月 5日(月)～ 6日(火) 暑中稽古
 8月 7日(水) 暑中稽古

於大阪市立修道館
 於 Asue アリーナ大阪
 (大阪市中央体育館)
 参加：延べ600名

令和7年1月 6日(月)～ 7日(火) 寒稽古
 1月 6日(月) 寒稽古

於大阪市立修道館
 於 Asue アリーナ大阪
 (大阪市中央体育館)
 参加：延べ1,400名

令和7年2月11日(祝) 第29回大阪武道祭 演武

於 Asue アリーナ大阪
 (大阪市中央体育館)

演武指揮：角谷

演武：パナソニック杯

第19回全日本都道府県対抗少年剣道優勝小学生の部代表選手
 塩川、北東、岡垣、大前、桂木、小西、神田、赤尾、濱口、
 廣永、山本、待寺 参加：13名

令和6年度剣道塾

第1回 5月6日 平野スポーツセンター於 協力：浪速高校・太成学院高校
 小学生150名、中学生40名 合計190名

第2回 7月28日 平野スポーツセンター於 協力：大阪教育大学
 小学生160名、中学生38名 合計198名

第3回 11月10日 西スポーツセンター於 協力：パナソニック EW 社剣道部
 小学生198名、中学生50名 合計248名

第4回 R7.2月23日 平野スポーツセンター於 協力：大教大、パナソニック、大剣協
 小学生234名、中学生36名 合計270名

Ⅱ 居 合 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

5月11日(土) 第1回特別強化練習会	於修道館	参加：95名
6月8日(土) 第2回特別強化練習会	於千島体育館	参加：102名
7月27日(土) 夏季講習会	於千島体育館	参加：166名
8月11日(日) 全剣連伝達講習会	於千島体育館	参加：135名
9月14日(土) 審判講習会	於千島体育館	参加：68名
10月26日～27日(土～日) 古流合宿研修会	於奈良県川上村	参加：延64名
令和7年1月11日(土) 新年合同稽古会	於修道館	参加：132名
1月25日(土) 第3回特別強化練習会	於東淀川体育館	参加：102名
2月11日(祝) 古流研修会	於修道館	参加：84名
2月15日(土) 春季講習会	於東淀川体育館	参加：163名

令和6年4月6日(土)～7日(日) 特別講師講習会 於修道館 参加：延231名
全剣連居合道部委員長：草間 純市 範士

(2) 各種大会の開催

9月29日(日) 第2回大阪府団体対抗居合道優勝大会 於大阪市立修道館
参加：10チーム、136名

<団体戦>

優勝：春風会 2位：八重垣会
3位：近畿大学

<個人演武>

段外 優秀演武賞：東野、南
初段 優秀演武賞：村上、田中、松山、佐々木
二段 優秀演武賞：村上、小南、田中
三段 優秀演武賞：山田
四段 優秀演武賞：新田、河井、菱、依田
五段 優秀演武賞：瀧川、角屋、鳥畑
六段 優秀演武賞：土屋
七段 優秀演武賞：吉田、川口、黒木、綿谷、小林、垣樋、東、馬場、柴田
〃 最優秀演武賞：白井

11月17日(日) 第54回居合道段別優勝大会 於修道館 参加：152名
(段外は優秀賞、初段～六段は優勝、七段は最優秀賞・部長賞の受賞者のみを記載)
段外：井谷(近畿大学)、南(近畿大学)
初段：緒方(春風会) 二段：大西(近畿大学) 三段：山下(春風会)
四段：元家(春風会) 五段：岡(水月会) 六段：大場(秀心会)
七段：最優秀賞…垣樋(茨木協会) 同志会会長賞…中島(水月会)

・・・月・・・日(・・) 第65回大阪居合道大会 於・・・ 参加：・・・名
(段外は優秀演武賞受賞者数、初段～六段は優勝者、七段は福田一男杯、居合道同志会会長杯および優秀演武者受賞者のみを記載)
七段…福田一男杯受賞者：・・・(・・・)
…大阪居合道同志会会長杯：・・・(・・・)

…特錬会杯：……………(……………)

段外：……………(……………) 初段：……………(……………) 二段：……………(……………)

三段：……………(……………) 四段：……………(……………) 五段：……………(……………)

六段：……………(……………)

(3) 各種予選会の開催

8月4日(日) 第59回全日本居合道大会大阪府選手最終選考会 於千島体育館
 監督：伏見、黒木 選手：岡、大場、中島 参加： 9名

(4) 審査会

8月25日(日) 於大阪市立修道館
 令和7年 3月 9日(日) 於大阪市立修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合 計	前 年 比
受審者数	32	17	21	19	9	98	△ 14名
合格者数	30	17	16	11	5	79	△ 20名

参考 (称号および六段以上)

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比
受審者数	19	16	10	1	7	—	53	△ 7名
合格者数	5	2	0	1	7	1	16	+ 5名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

…月…日(…) 第71回大阪府剣道優勝大会 兼 第21回大阪府女子剣道優勝大会
 於……………
 演武 無外流 脇差之形……………
 無外流 大太刀之形……………

令和7年2月11日(祝) 第29回大阪武道祭 演武 於Asueアリーナ大阪
 (大阪中央体育館)

演武：無双直伝英信流 居合道形 綿谷 — 吉田
 無双直伝英信流 詰合之位 三木 — 川口

Ⅲ 杖 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

5月12日(日) 月例研修会・審判講習会	於 Asue アリーナ大阪	参加：55名
7月14日(日) 月例研修会(高段者)	於川西市総合体育館	参加：34名
8月 4日(日) 月例研修会(一般)	於川西市総合体育館	参加：51名
9月 1日(日) 伝達講習会(台風の影響)	於修道館	参加： 名
10月 5日(土) 月例研修会 → (変更)伝達講習会	於修道館	参加：66名
11月17日(日) 秋季講習会	於 Asue アリーナ大阪	参加：97名
12月14日(土) 稽古納め・月例研修会	於修道館	参加：41名
令和7年1月19日(日) 稽古始め・月例研修会	於 Asue アリーナ大阪	参加：91名
3月 1日(土) 月例研修会	於修道館	参加：45名

(2) 各種大会の開催

6月 9日(日) 第61回大阪杖道大会兼第51回全日本杖道大会大阪府予選会
於修道館 参加：125名

(優勝者のみを記載)

小学生：荻野聡一郎・荻野友紀菜(垂水睦会) 初段以下：中(石川県)
二段：波止(福岡県) 三段：西岡(玄武館)
四段：石本(守口) 五段：森本(守口)
六段：上村(奈良杖道会)

10月27日(日) 第47回関西杖道優勝大会 於修道館 参加：135名

<団体戦> 優勝：玄武館 A 準優勝：泉北はつが野

<個人演武優秀賞> 小学生：春名咲良(小野睦会)、
初段以下：樋口雅之(養峻館)、安田光一郎(愛知県剣連)
白川史也(京都隻杖会)

五 段：中川 拓(京都隻杖会)

<個人演武敢闘賞> 小学生：荻野聡一郎(垂水睦会)、荻野友紀菜(垂水睦会)
三 段：奥野英行(養峻館)

(3) 各種予選会の開催

※上記、6月 9日(日) 第61回大阪杖道大会兼第51回全日本杖道大会大阪府予選会に記載

(4) 審査会

4月14日(日) 於大阪市立修道館

11月24日(日) 於大阪市立修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合 計	前 年 比
受審者数	4	14	8	12	6	44	△ 7名
合格者数	4	14	8	6	6	38	+ 2名

参考 (称号および六段以上)

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比
受審者数	2	5	4	0	1	—	12	△ 4名
合格者数	1	2	0	0	1	—	4	△ 2名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

~~・月・日(・)~~ 第71回大阪府剣道優勝大会 兼 第21回大阪府女子剣道優勝大会
於~~・・・・~~

演武 ~~全日本剣道連盟杖道形~~ ~~・・＝・・~~
神道流 剣術 ~~・・＝・・~~
内田流 短杖術 ~~・・＝・・~~
一心流 鎖鎌術 ~~・・＝・・~~

12月 1日(日) 第11回広島杖道大会 於広島県立総合体育館
参加：12名、 団体戦：2チーム
個人戦 三位：(五段の部) 小西

令和7年2月11日(祝) 第29回大阪武道祭 演武 於 Asue アリーナ大阪
(大阪市中央体育館)
演武：神道夢想流杖道(全日本剣道連盟杖道) 下谷 一 大島谷
一心流鎖鎌術 古谷 一服部

~~3月 日() 第・回杖道体験講習会 於・・・・ 参加： 名~~

普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注ぐとともに指導者の育成・研鑽に努めている。

令和 6 年度事業報告 附属明細書

令和 6 年度事業報告には、「一般法施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 7 年 5 月

公益社団法人 大阪府剣道連盟